

秋高連参加報告

7 月 12 日、在京秋田県高等学校同窓会連合会(秋高連)の第 21 回総会が行われました。参加校は 37 校、参加者は約 289 名でした。

今回の総会は友成新会長の挨拶のあと会務報告、来賓挨拶、秋田県内の高校の再編成に付いて根岸教育長の講演がありました。

友成新会長はじめ秋高連役員の方々の方々の精力的なボランティアにより最後まで楽しく過ごさせて頂きました。特に我が同窓会の畠山信孝監査役は、秋高連の幹事長として、あれこれと気くばりをされてこまめに接待されておりました。色々お疲れ様でした。能高同窓会からは 7 名が参加しました。

(参加者名は 16 ページの行事一覧表を参照)



能球会に参加して

第 62 期 大高 忠勉

平成 18 年 4 月 5 日に行われた第 21 回能球会。

最近はテニスにお金と時間を費やしているため、練習もしていない状態での参加は迷惑を掛けないかとても心配でした。しかし、「満開の桜ロードを歩いてみたい！」この願望で参加させて頂きました。『先輩の猛烈(強引)な誘いもありましたが・・・(笑)』

当日の天気は曇りのち雨。「河童ないよ～! どうしよう?」って思いましたが、桜の状態もとても気になりました。コースに出たら感動です!

先輩のお話しのとおり、コース両端が桜の木で覆われ、まさに「桜ロード!」。

快晴だったらどれだけの心地なのか? 来年も参加して確認したくなりました。

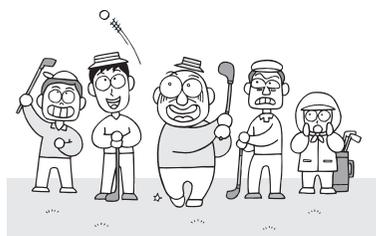
スコアについては触れたく無いのですが、やはり 120 台後半! なかなか上手くならないので困ったものです。でも、先輩達のプレーから学び、助言を頂いたりで、次はスコアアップ間違いなしです(?)。

また、同じレベルの先輩も居てくれるので、スコアを競い合う事ができ、結果に追われるでもなく、和やかに楽しくプレー出来るのでとても楽しい時間を過ごす事が出来ました。

- ① 昼食でのビールも最高!
- ② 終了後のお風呂も最高!
- ③ 打上げでの表彰式やビール(運転手はノンアルコール)も最高!
- ④ 狙いとおりのプービー賞も・・・!

※次回は目指せトップ 3(ハンデキャップ 36) です。

最後に、誘って頂き本当にありがとうございました。



本部同窓会総会・懇親会出席報告

第 29 期 組織委員長 宮腰 興紀

1 月 27 日 (金) 開催の能代高校同窓会総会・懇親会に東京同窓会の代表として、副会長の関根市男君と一緒に出席いたしました。飛行機搭乗前に大館能代空港行きは現地の天候によっては秋田空港に、最悪の場合は羽田空港へ引き返すので、そういう条件でと、脅かされながら乗ったところ幸いにも雪も小降りです。無事着陸できました。前日の 26 日は物凄い吹雪で 4 便が飛行中止となった事を考えれば我々はラッキーだったといえます。

出席者は約 70 人で場所柄のせいかな東京同窓会の総会・懇親会の方が参加者が多く活気があるように見えました。本来ならば太田会長が出席して来賓挨拶を行うところでしたが、出席しなかったのが県庁能高会会長の小野公正氏が行い、乾杯を関根市男君が行いました。

わざわざ東京より遠路来てくれたという事

もあって、閉会前の万歳三唱を私宮腰が仰せつかりました。尚、我々 29 期が一番出席数が多いという事で、東雲羊羹を賞品としていただきました。今年の東京同窓会総会・懇親会では、同期の太田会長誕生もあったので 29 期が出席者数で一番を狙いたいと思います。

また、二次会を地元の斉藤憲身君が手配してくれて、同期生達と楽しい能代の夜を過ごしました。

昨年は能代高校 80 周年記念があったので同窓会の総会ができなかったのが今回、総会と新年会を合わせた変則同窓会になったそうです。

3 月には新市長を決める市長選挙と市議員選挙があるというのに加え、新会頭になったばかりの寺田商工会議所会頭の辞任騒動があったりして、なんとなく能代市内も騒々しい雰囲気があったような気がしました。来年は万難を排してぜひ太田会長が出席して下さい。そして東京同窓会と新会長を大いに PR すべきと考えます。



御徒町で同級生に会える店 第 43 期

ふぐ・季節料理

きくち

菊池忠夫



〒110-0005
東京都台東区上野 6-6-4 デュークビル 1F
JR 御徒町駅より歩いて 3 分位
電話 03-3839-3382
e-mail: fugu-kikuchi@mrgbiglobe.ne.jp

白神山 (藤里町) 出身
[http: www.5b.biglobe.ne.jp/~fugu-ki/](http://www.5b.biglobe.ne.jp/~fugu-ki/)
[http: homepage2.nifty.com/shoryo-tokyo/g2kikuchi.html](http://homepage2.nifty.com/shoryo-tokyo/g2kikuchi.html)

新橋で同級生に会える店

第 36 期



《お昼には麦とろろご飯に
焼き魚か煮魚が一品ついた定食が人気!》

おいしい酒
と肴の店 新橋「和作」

加藤和海 (能代市新柳町出身)

新橋駅前ビル 1 号館
(蒸気機関車の反対側の駅ビル 1 階)

TEL 03-3575-1756

同期会と山登り

第 25 期 島 豊彦



おらほの

能代の高校を 1955 年 (昭和 30 年) に卒業した同期会である「能代 55 会」は、本年 2 月に多摩市 (ウェルサンピア多摩) で第 8 回懇親会を開催しました。

男性 20 名 (能高 17 名)、女性 9 名 (全員北高) で、そのうち能代一中出身が 15 名でした。当番幹事は、岡部忠、平川明三郎、唐津光成で、宴会からカラオケ、翌日の高幡不動見物まで細かい心遣いをしてくれ、楽しい会でした。卒業から半世紀が過ぎ、古稀を迎える年齢となりましたが、関東在住の常連以外の同期生の消息が気になります。

6 月には当会有志で温泉と山登りに出かけました。廉価で評判のおおるりグループ高雄温泉に横浜・船橋・池袋からバスに分乗して出発し、翌日、那須高原の茶臼岳と朝日岳に登りました。

花盛りで美しいヤマツツジを眺めながら山頂駅までロープウェイで登り、足の弱い人のペースに合わせて岩場や鎖場を越えて二つの山の頂上に達しました。宿に帰ってゆっくりと温泉に浸かって足の疲れを癒しました。ビールを呑みながら車座になって談笑した楽しいひとときは、お互いが老後の大切な絆であることを改めて感じさせられました。9 月には乗鞍岳に登る予定です。(下の写真は、左が茶臼岳 1,915 m、右が朝日岳 1,896 mです。)



能代 55 会 第 8 回懇親会 ウェルサンピア多摩 2006.2.12



同期会



上野に 23 名が集合

第 28 期 石川 輔宏

去る 5 月 20 日、首都圏在住者による同期会を過去最高の 23 名の参加を得て、上野「月の雫」で盛大に開催されました。特に今年は福岡、秋田から 4 名もの女性に参加いただき、大いに宴会が盛り上がった次第です。10 年位前に 7～8 名からスタートしたのですが一年交代の幹事さんの努力（今年は水木氏）により年々参加が増えております。来年の再会を誓い無事お開きとなりました。それでは、また。（編集者注：沢山写真を提供していただきましたが、その一部を紹介いたします。）



123 (ひふみ) 会

第 29 期 太田 勝治

今年の 123 会 (29 期生の同期会名称) は 2 月 25 日、銀座・歌舞伎座横の「秋田藩」で開催しました。参加者は 17 名。今回も、卒業以来初めて出席した同期生も一名おり大いに盛りまりました。仕事のこと、健康のこと、家族のこと、趣味のこと等話題が尽きないひとときでした。なお、1 年後輩の 30 期生が 2 名、34 年後輩の 63 期生の円さんが特別に飛び入りで参加してくれました。おかげ様で大変な盛り上がりとなりました。



ブログで、いつも同窓会

第 46 期 吉田真由美

今年 (2006 年) の 2 月 4 日に開かれた東京同窓会常任幹事会で、「もっと若い人や女性たちに同窓会活動に参加してもらいたい。そのためにはどうしたらよいか」ということが話題になりました。その場で広報委員会の若いメンバー福本円さん (63 期) から、インターネット上でブログ (日記形式のホームページ) を開設してはどうかという提案があり、「よさそうなことは、なんでもやってみよう」と、すぐに承認されました (もっとも、「ブログってなんだべ?」と思っていた幹事さんも多かったようですが)。

さっそくその日のうちに、福本さんが東京同窓会のブログを立ち上げました。タイトルは「いつかの同窓会」。とりあえず女性を中心に、何人か共同で記事を書き込もうということになりました。今までのところ記事を書いているのは、淡路和子さん (55 期)、大塚聡子さん (49 期)、三浦洋さん (45 期)、それに福本さんと私の 5 人で、週に 2 回くらいのペースで更新しています。

初めのうちは同窓会に関する情報を流そうと考えたのですが、すぐにタネがつきてしまいます。第一、もともと同窓会に興味のない人には読んでもらえそうにありません。そこで、能代山本の話題をとりあげたり、自分の思い出を書いてみたり、同窓生のみなさんが楽しく読める記事にしようと、それぞれが工夫してきました。

ブログは、読んだ人が意見や感想を、コメントとして書き込めるのが特長です。自分の書いた記事に反応があるとうれしく、励みになります。コメントに返事をすることもできますし、そこから新しい話題が広がっていくこともあります。

コメントは、最初は内輪の人ばかりでしたが、東京同窓会のホームページや能代関係のブログのリンクからたどってくる人もふえ、秋田県内や福岡に住む同窓生からも書き込まれるようになりました。本名ではなくハンド

ルネームを使っているのが本当のところはわかりませんが、女性も多いようです。年齢層もかなり幅広く、「この春に卒業したばかりです」という書き込みがあったときには、関係者みんな大喜びでした。

ブログを始めてから半年たち、記事を書いたり、コメントが返ってきたりするなかで、おもしろいと感じることがありました。能代高校の同窓生といっても、思い浮かべる母校の姿は、それぞれに違うということです。樽子山の木造校舎の人もいれば、高埜の校舎の人もいます。校名の呼び方も「のうちゅう」「なんこう」「みなみ」「のうこう」「のしこう」といろいろであることを、ブログで初めて知りました。女子生徒の比率も 1 割くらいから半分近くまで、年代によってかなり違います。

それでも、「能代高校」という一点でつながっていて、「私たちのころはこうだった」「こんなふうに変ったなんてびっくり」という会話が、旧知のように世代を越えてできるのは、考えてみれば不思議です。そんなところも、「インターネット同窓会」の妙味かもしれません。

このブログの試みが東京同窓会参加者の増加に結びつくのかどうか、正直いってまだわかりません。ただ、それはそれとして、このブログ自体、同窓生の新しい交流の場として続けていく価値があるのではないかと、最近はそのことを考えています。

(<http://blog.goo.ne.jp/itsuka-dousou/>)

さきがけ新聞に紹介される

(2006 年 6 月 11 日「東京ふりーぱす」より抜粋)
「県内高校の東京同窓会 独自 HP 開設が浸透 会員獲得目指して活用」

首都圏在住の県内高校卒業生でつくる各高校の東京同窓会。年 1 回の総会や会報発行などの活動に加え、新たにインターネット上で独自のホームページ (HP) を開設する動きが浸透してきている。会員への連絡インタビューの掲載やブログの開設など趣向を凝らした内容が目立つ。会員の高齢化が進む中、新たな若手会員獲得に向けた有効な手段として活用されているようだ。各校の東京同窓会で組織する在京秋田県高等学校同窓会連合会の構成団体は、現在 47 団体。友成穂秀会長は「このうち、3 分の 1 程度は HP を開設した